

《平成27年度～平成29年度》

宮崎市中期財政計画のポイント

(平成27年度ローリング)

～「将来に責任ある、自立した財政運営」を目指して～

★目次★

はじめに 中期財政計画の概要	…1
ローリング(見直し)の目的と方法	…2
ローリングの結果①(試算の結果)	…3
ローリングの結果②(試算の比較)	…4
ローリングの結果③(試算の検証)	…5
ローリングの結果④(基金・市債残高及び公債費の推移見込み)	…6
参考:第四次宮崎市総合計画 後期基本計画期間内 財政見通し	…7

平成27年10月
宮崎市企画財政部財政課





「宮崎市中期財政計画」～「将来に責任ある、自立した財政運営」を目指して～

はじめに 中期財政計画の概要

★中期財政計画とは

➤宮崎市の財政運営の基本的な指針。真に必要な市民サービスを提供する上で、必要不可欠な健全財政を実現するための財政健全化対策や財政目標をまとめたものです。普通会計を対象とします。

★計画期間

➤平成27年度から平成29年度まで

★主な財政健全化対策

➤歳入

市税の収納率向上、市債発行額の抑制(「元金ベースのプライマリーバランスの黒字化」厳守)

➤歳出

人件費・普通建設事業費・物件費・補助費等の削減

★財政目標

目標1	市債残高120億円以上の圧縮を目指す (対H26決算比 普通会計ベース)
目標2	財政5基金残高200億円以上の確保を目指す ※財政5基金:財政調整基金、財源対策債等償還基金、公共施設整備等基金、 地域振興基金、土地開発基金
目標3	歳入歳出改革による一般財源の確保・削減(13億円)を目指す (対H26予算比 一般財源ベース) ※使用料・手数料の見直し、人件費、物件費、補助費等の削減 ※目標値は、地方交付税の合併算定替縮減分(H26交付税決定額から推計)



「宮崎市中期財政計画」～「将来に責任ある、自立した財政運営」を目指して～

ローリング(見直し)の目的と方法

★27年度当初予算編成における成果

- 中期財政計画にもとづいて予算編成に取り組んだ結果、いずれの財政目標も達成し、「将来に責任ある、自立した財政運営」の実現に向けて一定の成果を上げることができた。

★ローリングの目的

- こうした成果を踏まえ、「収支不足の解消」と「財政目標の達成」を図り、「将来に責任ある、自立した財政運営」を実現するため、将来の財政運営に影響を与える要素を織り込んで、昨年度に試算した財政収支をローリング(見直し)し、適切かつ効果的に財政健全化に取り組む。
- ローリングの結果は、28年度当初予算編成に活用する。

★ローリングの方法

- 昨年度の財政収支試算をもとに、次の要素を反映させて歳入・歳出を試算する。

※反映させる主な要素

- 内的要素～26年度決算、27年度予算

- 外的要素～国の財政運営

「中期財政計画」・「概算要求基準」・「経済・財政再生計画」

「地方財政収支の仮試算(27年8月発表)」、各種制度の改正

社会経済情勢の変化

「社会保障と税の一体改革」に伴う影響

ローリングの結果①(試算の結果)

★平成26年度時点(ローリング前) ※普通会計ベース (単位:億円)

区 分	H26予算	H27計画	H28計画	H29計画	目標達成見込額
歳入①	1,539	1,543	1,558	1,527	—
歳出②	1,539	1,551	1,562	1,527	—
収支①－②	0(▲22)	▲8	▲4	0	—
目標1:市債残高	1,997	1,955	1,910	1,873	▲124
目標2:財政5基金残高	272	257	213	203	203
目標3:歳入歳出改革による 一般財源の確保・削減	—	1	4	8	13
市債発行額③	170	156	151	149	—
公債費(元金)④	201	198	196	186	—
PB(プライマリーバランス)④－③	31	42	45	37	—

★平成27年度時点(ローリング後) ※普通会計ベース (単位:億円)

区 分	H26決算	H27予算	H28計画	H29計画	目標達成見込額
歳入①	1,611	1,573	1,582	1,625	—
歳出②	1,577	1,573	1,586	1,625	—
収支①－②	34	0(▲18)	▲4	0	—
目標1:市債残高	1,994	1,949	1,889	1,838	▲156
目標2:財政5基金残高	286	283	261	206	206
目標3:歳入歳出改革による 一般財源の確保・削減	—	1	4	8	13
市債発行額③	167	154	141	141	—
公債費(元金)④	201	199	201	192	—
PB(プライマリーバランス)④－③	34	45	60	51	—

【注】H26・H27予算における、歳入①には、財源不足による財政調整基金・公共施設整備等基金からの取崩額を含む。

ローリングの結果②(試算の比較)

★歳入・歳出の比較(28年度から29年度までの合計額の差)

- 歳入は、市税や地方消費税交付金などが増額する一方、歳出も、社会保障関係費などが増額することにより歳出歳入ともに122億円の増額となる見込み。
- 主な科目の増減とその要因は次のとおり。

(単位:億円)

区分 (増減額)	主な科目	増減額	増減の主な要因
歳入 (+122)	市税	+9	個人市民税や固定資産税などの増によるもの
	地方交付税	▲4	実績の減によるもの
	市債	▲18	新規発行額の抑制及び臨時財政対策債などの減によるもの
	国・県支出金	+16	扶助費や普通建設事業費などの増によるもの
	地方消費税交付金	+65	消費税増税などによるもの
	繰入金	+28	公共施設整備等基金からの繰入金などの増によるもの
歳出 (+122)	人件費	+10	実績の増によるもの
	普通建設事業費	+11	消費税率引上による事業費の増によるもの
	物件費	+74	実績の増によるもの
	扶助費	+13	児童福祉関係費、生活保護費、障がい福祉関係費などの増によるもの
	公債費	▲2	市債残高の圧縮に伴う償還額の減によるもの



「宮崎市中期財政計画」～「将来に責任ある、自立した財政運営」を目指して～

ローリングの結果③(試算の検証)

★ローリング後の財政収支

- 歳出歳入ともに増額となるものの、財政収支は昨年度の試算時点と変わらず、平成29年度には黒字となる見込み。
- 引き続き徹底した財政健全化対策に取り組むことにより、早期の収支不足解消を目指す。

★ローリング後の財政目標

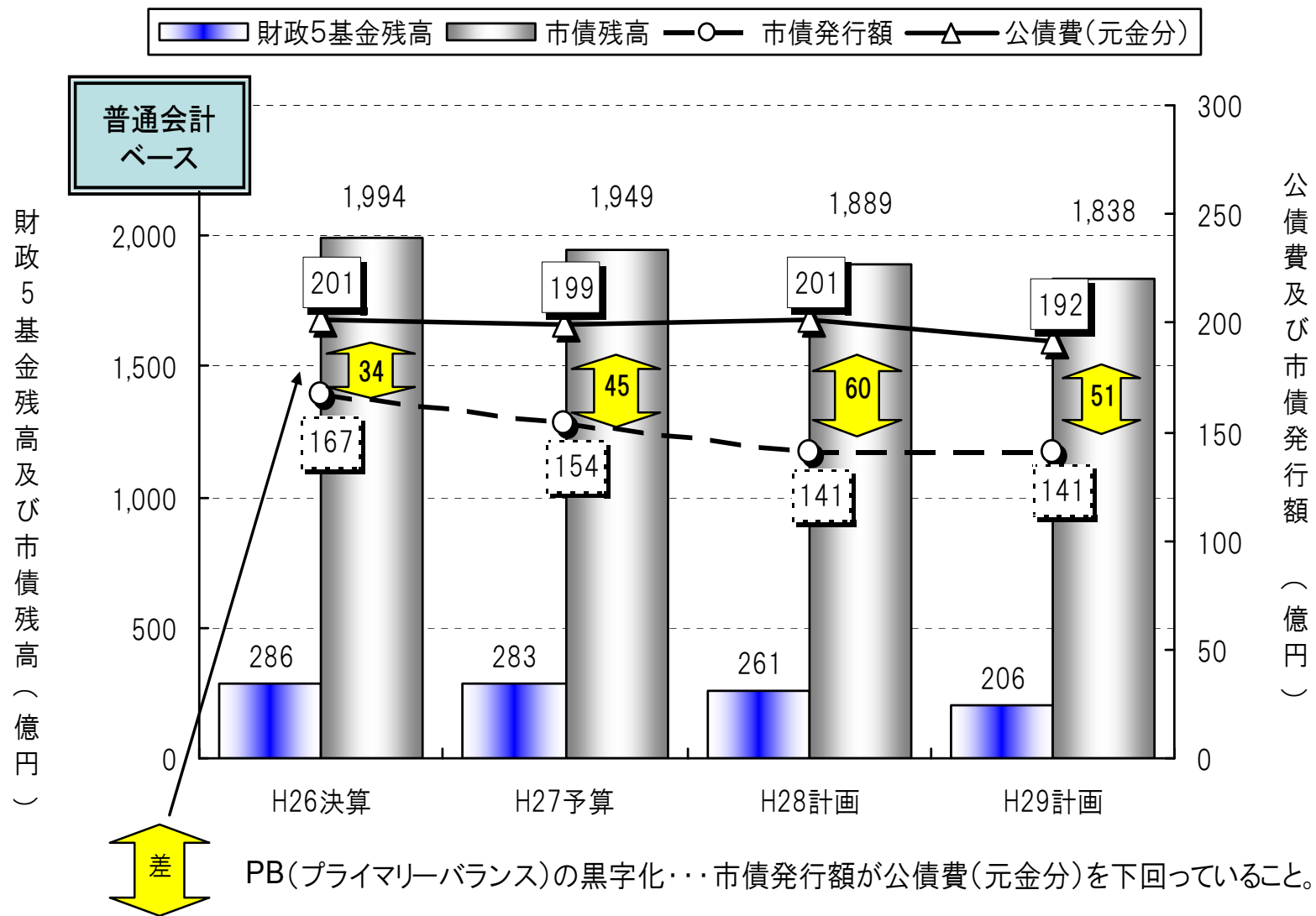
- いずれの目標も達成できる見込み。

目 標		見込額	達成度
目標1	市債残高120億円以上の圧縮を目指す (対H26決算比 普通会計ベース)	156億円圧縮	達成
目標2	財政5基金残高200億円以上の確保を目指す	206億円確保	達成
目標3	歳入歳出改革による一般財源の確保・削減(13億円)を目指す (対H26予算比 一般財源ベース)	13億円確保・削減	達成

★ローリングの結果は予算編成に活用

- ローリングの結果は28年度当初予算編成に活用し、財政健全化路線を堅持。

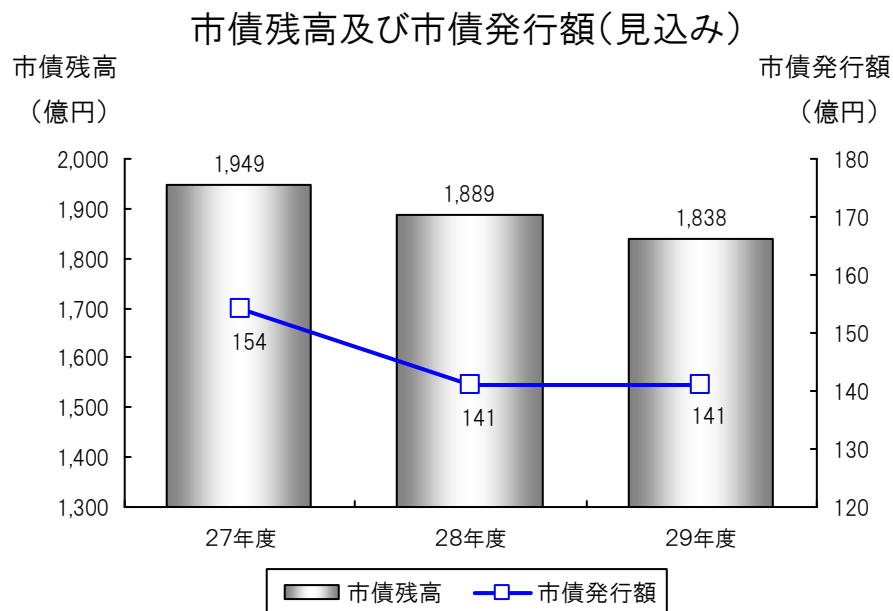
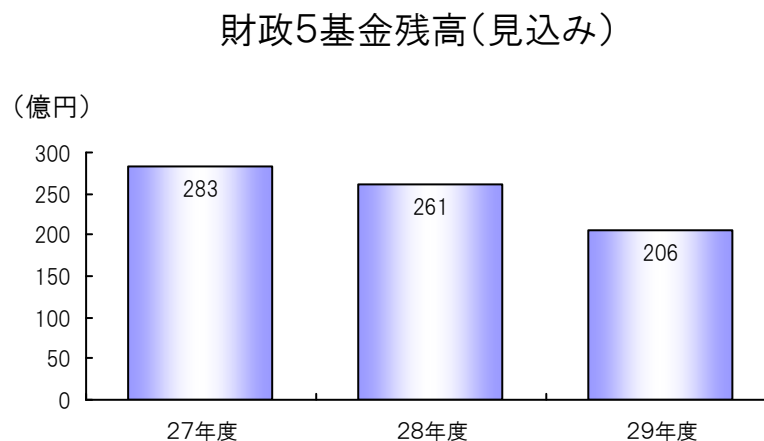
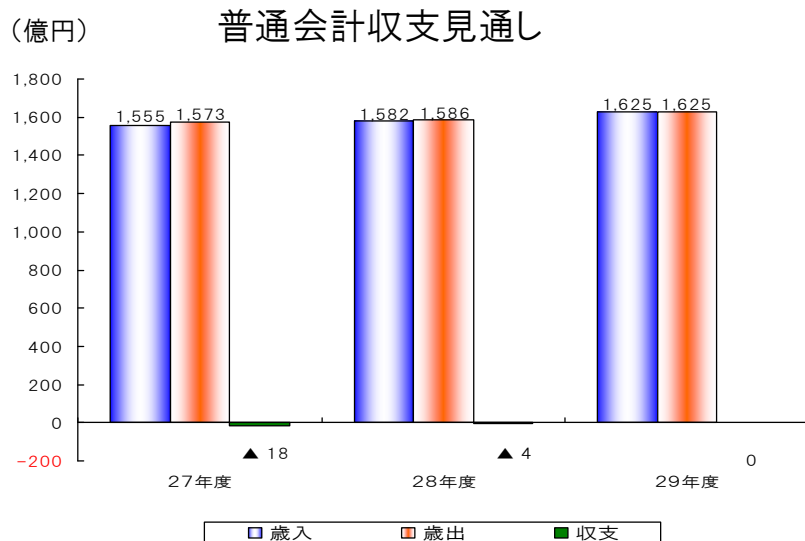
ローリングの結果④(基金・市債残高及び公債費の推移見込み)





「宮崎市中期財政計画」～「将来に責任ある、自立した財政運営」を目指して～

参考：第四次宮崎市総合計画 後期基本計画期間内 財政見通し



★今回の中期財政計画のローリングを踏まえ、昨年度に試算した第四次宮崎市総合計画(後期基本計画)期間内である平成27年度から平成29年度までの3年間の財政見通しを再試算。

再試算結果

- 平成29年度での収支黒字化を見込む
- 財政5基金残高は200億円以上を確保
- 市債残高は順調に削減